
中間決算説明会資料

2003年11月

コード番号:1723

ND 日本電技株式会社



中間決算概要



決算ハイライト

(百万円、円、%)

	03 / 3期中間		04 / 3期中間		増減額	増減率	03 / 3期	
		百分比		百分比				百分比
売上高	7,716	100.0	6,486	100.0	1,230	15.9	22,413	100.0
営業利益	227		523		296		1,279	5.7
経常利益	212		513		301		1,173	5.2
当期純利益	154		357		203		608	2.7
総資本	15,077		15,467		390	2.6	17,540	
株主資本	7,806		8,238		432	5.5	8,824	
1株当たり当期純利益	20.69		43.61		22.92		72.00	
1株当たり株主資本	1,048.17		1,005.09		43.08	4.1	1,067.89	

1株当たり指標につきましては、新会計基準により計算しております。また、株式分割の影響を加味し遡及修正を行っております(03/3中間期)。

貸借対照表の主な増減科目

(百万円、%)

	03 / 3期中間		04 / 3期中間		増減額
		構成比		構成比	
資産合計	15,077	100.0	15,467	100.0	390
流動資産	12,430	82.4	12,455	80.5	24
受取手形	2,726	18.1	2,486	16.1	240
完成工事未収入金	1,009	6.7	1,315	8.5	305
未成工事支出金	5,474	36.3	4,684	30.3	790
固定資産	2,646	17.6	3,012	19.5	365
負債合計	7,270	48.2	7,228	46.7	42
流動負債	6,691	44.4	6,608	42.7	83
支払手形	2,019	13.4	2,303	14.9	283
未成工事受入金	2,577	17.1	2,432	15.7	144
固定負債	579	3.8	619	4.0	40
退職給付引当金	452	3.0	478	3.1	25
資本合計	7,806	51.8	8,238	53.3	432

増減要因

- 受取手形減、完成工事未収入金増：主要顧客からの回収の手形レス化
- 未成工事支出金、未成工事受入金減：既設市場へのシフトによる工期の短期化に伴う受注残高の減少
- 支払手形増：原材料仕入が増加

損益の状況

(百万円、円、%)

	03 / 3期中間		04 / 3期中間		増減額	増減率
		百分比		百分比		
売上高	7,716	100.0	6,486	100.0	1,230	15.9
売上原価	6,246	80.9	5,249	80.9	997	16.0
売上総利益	1,470	19.1	1,236	19.1	233	15.9
販売費及び一般管理費	1,697	22.0	1,760	27.1	63	3.7
営業利益	227		523		296	
営業外収益	15	0.2	13	0.2	1	13.2
営業外費用	0	0.0	2	0.0	2	669.3
経常利益	212		513		301	
特別利益	21	0.3	7	0.1	14	66.3
特別損失	42	0.5	80	1.2	38	91.9
中間純利益	154		357		203	

増減要因

営業利益：売上減に伴う売上総利益の減少

経常利益：営業利益の減少要因に同じ

中間純損失：固定資産除却損の減少、前期末未払賞与計上額に対応する社会保険料を損失計上

キャッシュフローの状況

(百万円)

	03 / 3期中間	04 / 3期中間	差額
営業活動によるキャッシュフロー	823	762	61
投資活動によるキャッシュフロー	311	376	65
財務活動によるキャッシュフロー	284	189	94
現金及び現金同等物の期末残高	2,468	3,002	533

増減要因

営業活動によるキャッシュフロー・・・対前期比 61

売上債権の減少、未成工事受入金の増加

税引前中間純損失の増加、未成工事支出金の増加、法人税等の支払額増加

投資活動によるキャッシュフロー・・・対前期比 65

投資有価証券取得支出の増加、有形無形固定資産取得による支出増

財務活動によるキャッシュフロー・・・対前期比 94

配当金支払の増加、短期借入金返済支出の減少

事業別受注高、受注残高

(百万円、%)

	03 / 3期中間				04 / 3期中間			
	受注高	構成比	受注残高	構成比	受注高	構成比	受注残高	構成比
空調計装関連事業	10,061	90.0	14,292	92.4	10,135	89.3	13,653	93.5
空調計装工事	9,864	88.3	14,292	92.4	9,939	87.5	13,653	93.5
新設工事	4,285	38.4	8,349	54.0	4,213	37.1	8,011	54.9
既設工事	5,578	49.9	5,942	38.4	5,725	50.4	5,642	38.6
制御機器販売	196	1.8			196	1.7		
その他の計装関連事業	1,112	10.0	1,182	7.6	1,220	10.7	946	6.5
その他の計装工事	866	7.8	1,182	7.6	1,058	9.3	946	6.5
制御機器販売	245	2.2			162	1.4		
合計	11,173	100.0	15,475	100.0	11,356	100.0	14,600	100.0

事業別売上高

(百万円、%)

	03 / 3期中間		04 / 3期中間	
		構成比		構成比
空調計装関連事業	7,084	91.8	5,657	87.2
空調計装工事	6,887	89.3	5,460	84.2
新設工事	4,947	64.1	2,882	44.4
既設工事	1,940	25.1	2,578	39.8
制御機器販売	196	2.6	196	3.0
その他の計装関連事業	632	8.2	828	12.8
その他の計装工事	387	5.0	666	10.3
制御機器販売	245	3.2	162	2.5
合計	7,716	100.0	6,486	100.0

中間業績予想修正について

(百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中間純利益
前回発表予想 (A) (2003年5月16日発表)	8 , 1 8 0	4 5 0	2 8 0
今回発表修正 (B)	6 , 4 8 6	5 1 3	3 5 7
増減額 (B - A)	1 , 6 9 4	6 3	7 7
増減率	2 0 . 7 %	1 4 . 2 %	2 7 . 7 %
前期中間実績 (2002年9月期)	7 , 7 1 6	2 1 2	1 5 4

- ・空調計装 / 新設で小型物件の出足が例年に比して悪く、前年同期比約20億円の減
- ・空調計装 / 既設、その他計装で増加も新設の落ち込みカバーしきれず

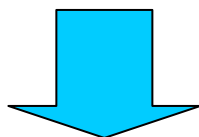
今後の見通し、戦略



04 / 3期首における戦略

● 事業環境

- ・新設市場減少、既設市場増加基調変わらず
- ・省エネルギー化ニーズ強い



● 事業戦略

既設市場への省エネルギー提案ビジネスを核に
各事業に明確なミッションを

- ・新設 収益性改善、既設ストック確保
- ・既設 省エネ提案を核に積極的拡大
- ・その他 対象顧客、設備を絞り、提案ビジネス展開
- ・新規 実績づくりと新規顧客開拓の突破口として

04 / 3期業績見通し

(百万円、円、%)

	03 / 3期		04 / 3期見通し		増減額	増減率	04 / 3期 当初見通し
		百分比		百分比			
売上高	22,413	100.0	21,000	100.0	1,413	6.3	22,550
営業利益	1,279	5.7	1,275	6.1	4	0.3	1,350
経常利益	1,173	5.2	1,300	6.2	127	10.8	1,380
当期純利益	608	2.7	660	3.1	52	8.4	760
総資本	17,540		17,600				17,270
株主資本	8,824		9,144				9,290
1株あたり当期純利益	72.00		73.19				85.39
1株あたり株主資本	1,067.89		1,108.14				1,125.95

減収増益(4期連続の増益見込み)

利益率の向上(セールスマックスの変化)

事業別受注高、売上高見通し

(百万円、%)

	03 / 3期				04 / 3期見通し			
	受注高	構成比	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比
空調計装関連事業	18,031	89.6	20,172	90.0	18,548	88.3	18,776	89.4
空調計装工事	17,583	87.4	19,723	88.0	18,128	86.3	18,356	87.4
新設工事	8,500	42.2	10,831	48.3	8,348	39.8	8,642	41.2
既設工事	9,082	45.1	8,892	39.7	9,780	46.6	9,714	46.3
制御機器販売	448	2.2	448	2.0	420	2.0	420	2.0
その他の計装関連事業	2,092	10.4	2,240	10.0	2,452	11.7	2,224	10.6
その他の計装工事	1,623	8.1	1,772	7.9	2,104	10.0	1,876	8.9
制御機器販売	468	2.3	468	2.1	348	1.7	348	1.7
合計	20,124	100.0	22,413	100.0	21,000	100.0	21,000	100.0

新設 / 既設売上比率の逆転

その他の計装関連事業の収益率好転

当面の施策(04年3月に向けて)

空調計装 / 新設

…ストック確保の選別受注方針は不変、収益性の改善

空調計装 / 既設

…省エネルギーを軸とした提案型既設事業およびメンテナンス受注を中心に積極的な事業展開 当事業で新設の落ち込みをカバー

その他の計装関連事業

…規模より収益重視の受注戦略 一定の成果 今後も継続

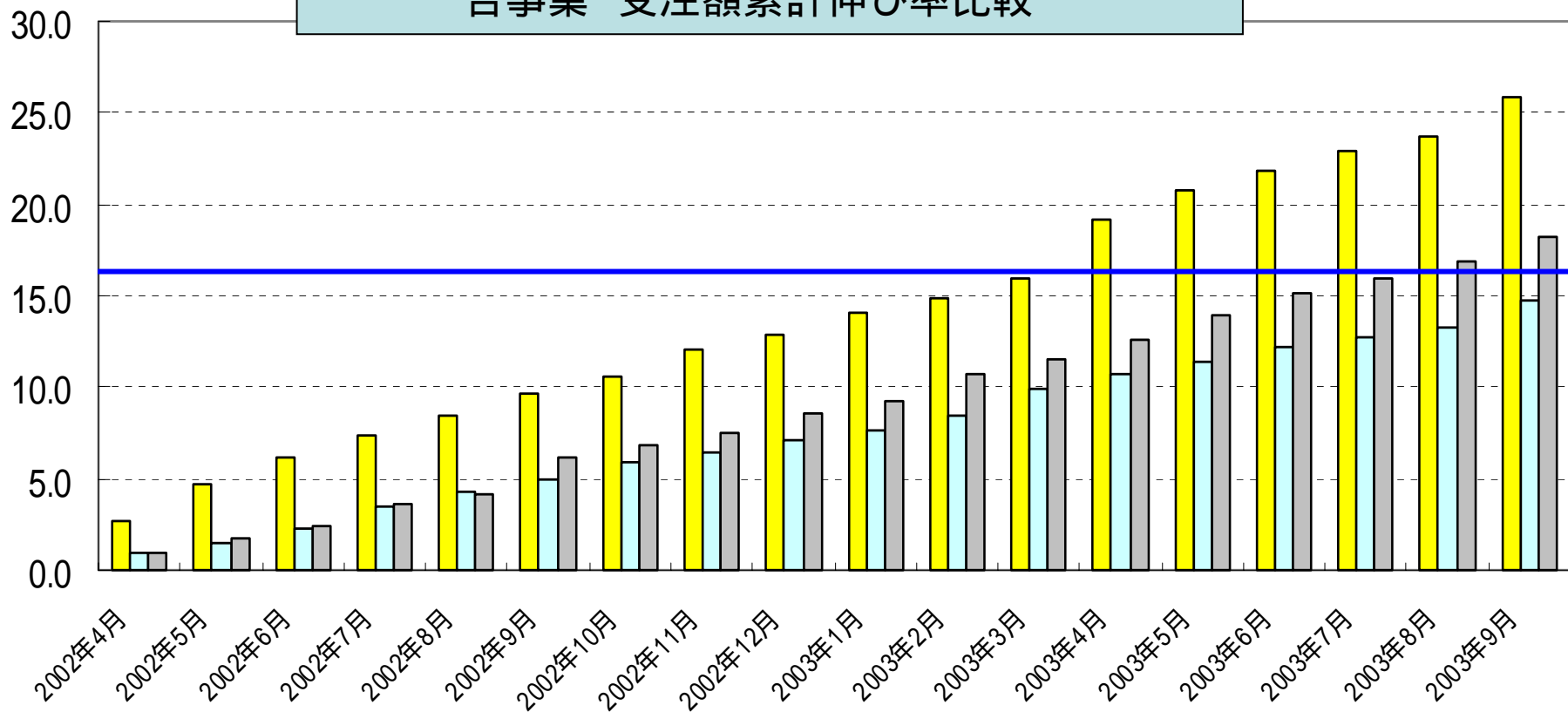
小型物件の確実な刈り取り

…新設減少 / 既設増加、建設投資の減少 小型物件の増加
このような市況の変化に対応し、当期受注・当期売上物件を確実に受注

参考…当期(下期)受注、当期(下期)売上の対年度売上に占める比率
01/3期:3.2% 02/3期:9.6% 03/3期:14.2% 04/3期見込:約20%

既設事業 足元の業績推移

各事業 受注額累計伸び率比較



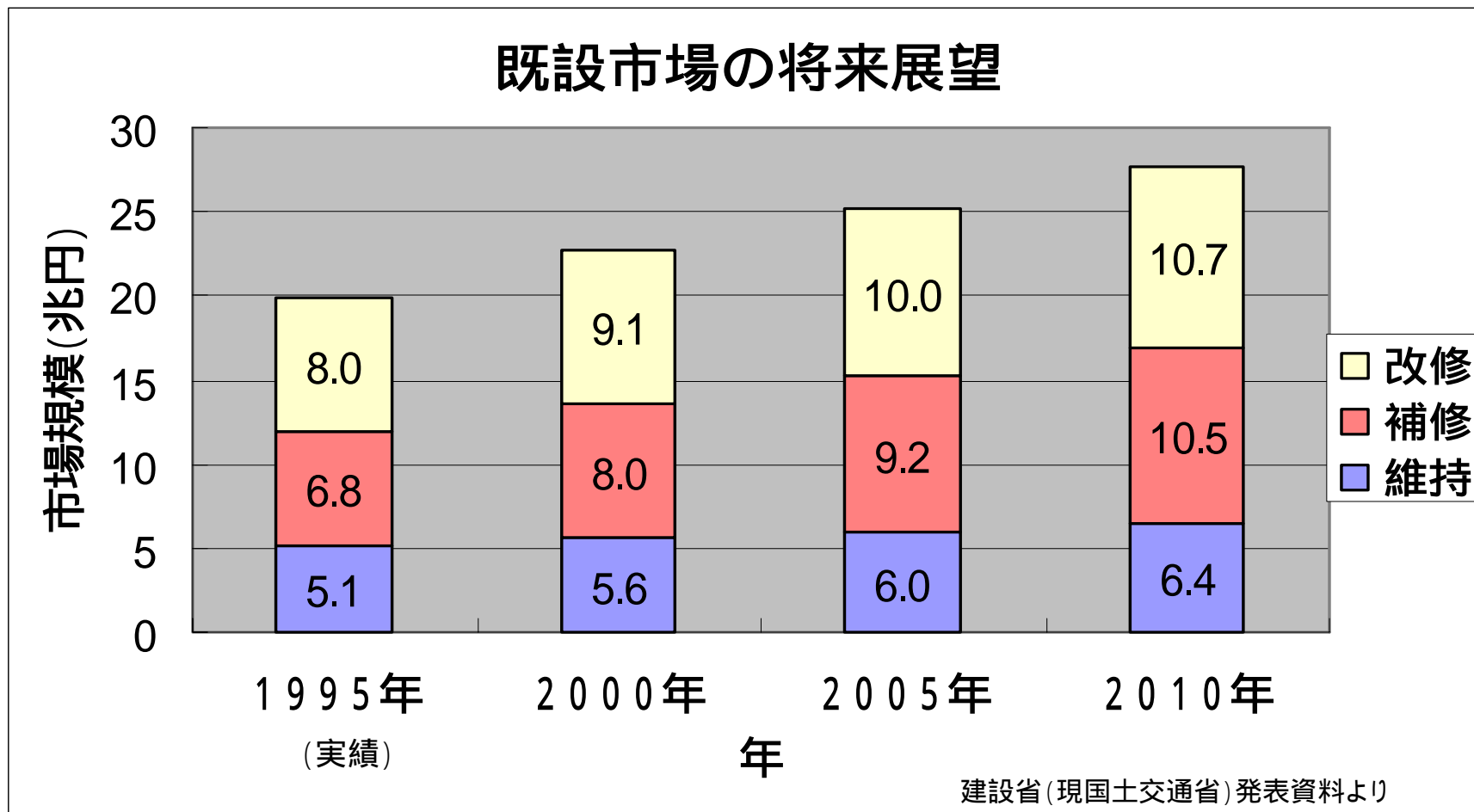
■ 既設 ■ 新設 ■ その他計装 基準線 = 18.0

2002年3月期の月平均受注額を1としたとき、2002年4月から2003年9月までの18ヶ月間の受注額累計がどのくらいまで増えたかを表したもの

既設の受注 他事業に比べ大幅な伸び

事業環境(その1・既設市場)

既設市場は今後とも有望市場



事業環境(その2・省エネ関連市場)

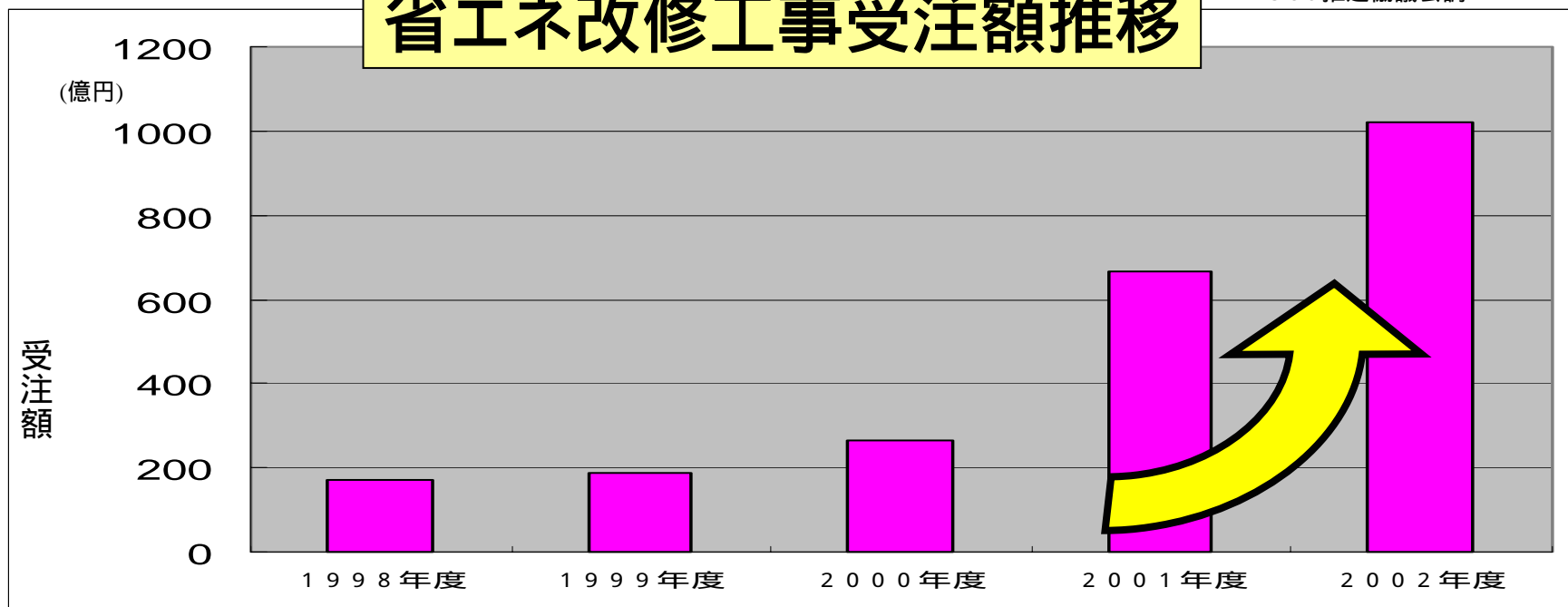
省エネルギー提案営業型既設事業の拡大

省エネルギー事業環境は追い風

- ・新改正省エネ法 2003年4月
- ・省エネルギーの取組は経営コスト削減の具体策

省エネ改修工事受注額推移

ESCO推進協議会調べ



事業環境 (その3・新改正省エネルギー法)

新改正省エネ法(03年4月～)の概要

年間エネルギー使用量		工場・事業場の設置者	
燃料(熱)	電気	改正前 以下の5業種 製造業 鉱業 電気供給業 ガス供給業 熱供給業	改正後 下記業種も規制対象 左記を除く全ての業種 (例えばオフィスビル、 デパート、ホテル、学校、 病院、官公庁など) 左記5業種の本社ビル 等の事務所
		第一種特定事業者	第一種指定事業者
3,000kl	1,200万kWh	第二種特定事業者	
1,500kl	600万kWh		

民生部門の強化
エネルギー管理
士の選任
中長期計画の作
成・提出
中長期計画作成
の際のエネルギー
管理士の参画
定期報告

エネルギー管理
士の選任
(記録に代え)定
期報告

エネルギー管理士の選任(エネルギー管理士の資格が必要)
中長期計画の作成、提出、定期報告

事業別戦略(その1)

空調計装 / 新設

既設事業に繋がるストックの確保 選別受注
収益率の改善 技術力向上による施工効率アップ

空調計装 / 既設(従来型)

当社施工新設物件におけるメンテナンス完全確保
当社施工新設物件における監視装置更新需要完全確保
メンテナンスメニューの拡大とスポットサービスの重視

その他の計装関連事業

規模より収益重視 “より広く”から“より深い”営業展開
対象設備を絞った営業展開
新規事業 実績づくりと新規顧客開拓
計装以外の省エネ分野からのアプローチ

事業別戦略(その2)

提案型既設事業(省エネ化提案)

～ 03/3月期

顧客開拓期

コスト削減ニーズ(設備投資削減傾向)を捉えた
事業展開

- ・顧客が投資しやすい規模の物件を数多く収穫
「量」より「数」

～ 04/3月期

顧客囲い込み期

主要顧客(ビル、病院など)は「エネルギーのプロ」
が不足している状態

- ・当社が省エネルギーに関するコンサルタント
として顧客に密着

～ 05/3月期

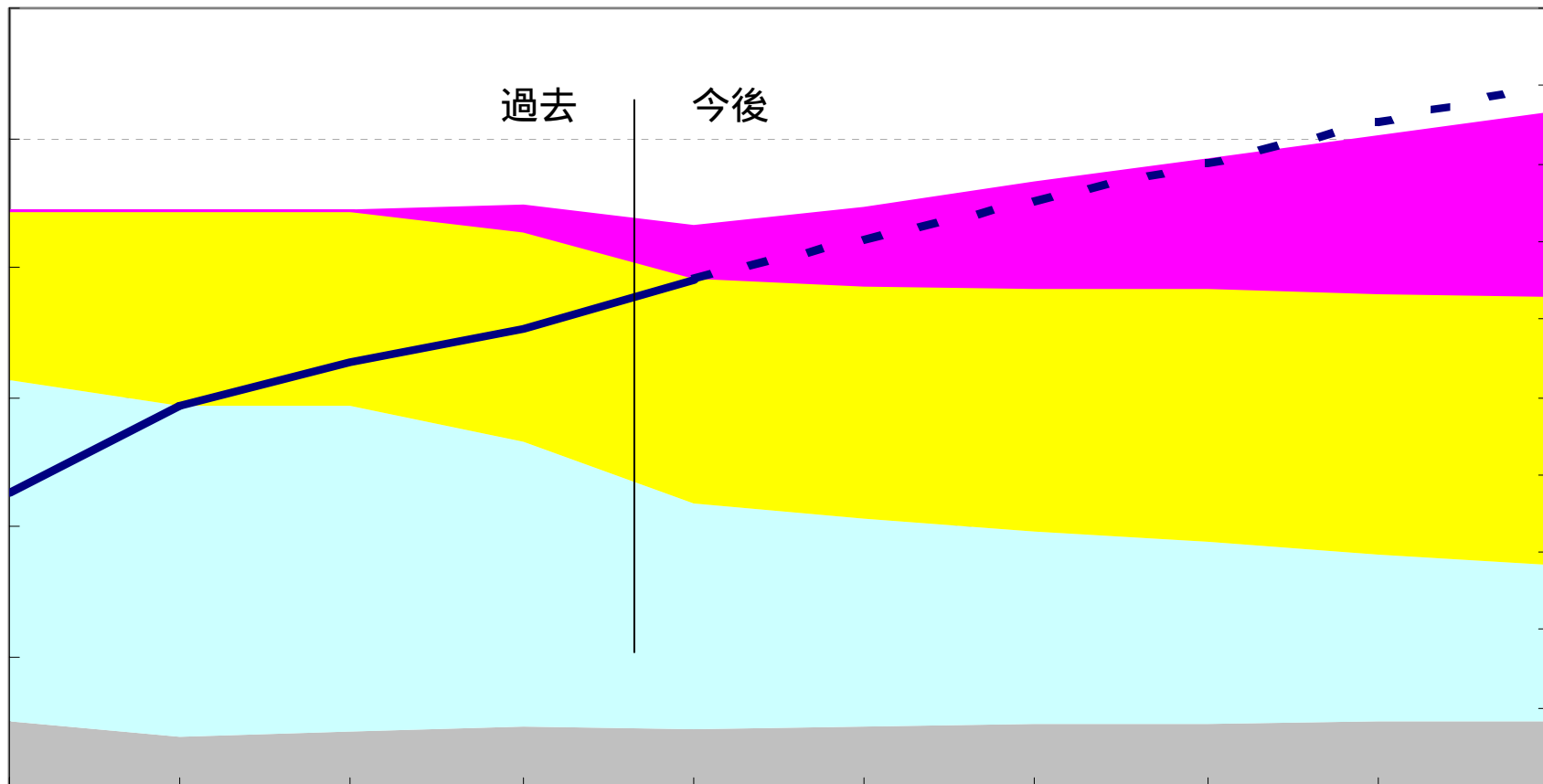
1ランク上の
省エネプロ集団へ

ギャランティード・セイビング・ビジネスも視野に
・省エネ知識(技術)、費用低減のための会計、法
務知識等を兼ね備えたセールスエンジニア集団へ

成長戦略(今後の成長戦略イメージ図)

売上高

経常利益



既設提案 既設 新設 その他計装 経常利益

既設提案の売上増加が、そのまま利益増加に結びつくイメージ

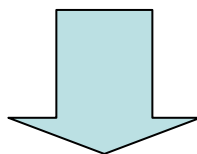
ビジョンについて

環境問題 省エネルギー

既設建物への投資拡大



「計装」の活躍フィールドは今後も広がっていく



将来ビジョン

「『計装』の可能性を追求します」



本日の説明会ならびに、IRに関するお問い合わせ等
ございましたら、日本電技(株)経営企画室 までご連絡ください。

03 - 5624 - 1011

<http://www.nihondengi.co.jp/>

ndkeiki@nihondengi.co.jp

当資料に記載されている日本電技の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、
これらは、現在入手可能な情報から得られた日本電技の経営者の判断に基づいています。
実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。